

先輩から後輩へ 本校では、1年間の学習成果である課題研究の内容や、進路実現に至るまでの体験が3年生から下級生に伝えられ、それが以後の高校生活に活かされています。

「学習成果発表会」

1月25日（水） 学習成果発表会が行われ、各科の3年生の代表が今年度課題研究で取り組んできた内容を発表しました。発表は体育館で行われ、下級生は各教室でオンラインで配信された映像を視聴しました。専門分野の工夫を凝らした先輩たちの取り組みの成果に、各々興味深く見入っていました。



課題研究テーマ

機械科
『マイコンカーの製作』
電子機械科
『Raspberry Pi 電子工作』
『木工作品及びサンドブラスト』
電気科
『掃除機の修復・修理』
『なんでも工作』



「進路先輩体験発表会」

12月20日（火） 進路先輩体験発表会が行われました。各科ごとに3年生が、就職・進学に向けての自身の体験談を1・2年生に向けて語ってくれました。身近な先輩の話は大いに参考になったと思います。



藤工新聞

第 3 号



令和5年3月1日発行

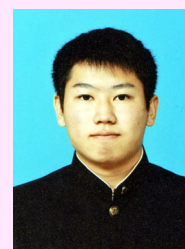
藤岡市下戸塚47番地2
TEL:0274 (22) 2153
FAX:0274 (22) 6743

☆進路実現に向け努力した3年生からのメッセージ☆

就職・進学ともに進路希望を叶えるためには、1・2年生のうちから相應の努力と入念な準備が必要です。入学時よりコロナ禍の影響で様々な不自由を強いられた高校生活を送りながら、希望の進路をつかんだ3年生からの1・2年生に向けての貴重なメッセージです。

【株式会社アイチコーポレーション】

櫻井 友輝 君（機械科・藤岡北中出身）



私が就職する株式会社アイチコーポレーションは、高所作業車などの特装車両の開発・製造・販売・サービスを行っている会社です。具体的に就職先を決める上では、求人票を見ただけでなく工場の見学もしました。工場の人たちはとても明るくて雰囲気良く、設備が充実していて作業効率が高かったため決めました。

就職先を決めるときは、何が好きで何をしたいかを決めておくことが大切です。作業内容が合わず、すぐやめてしまっはいけないので、ずっと続けていけるように、作業内容をしっかりと知り自分に合っているか判断して選ぶことが大切です。

【日本大学工学部機械工学科】

関口 大雅 君（機械科・藤岡西中出身）



日本大学工学部の機械工学科への進学を決めた理由は、ロハス工学という健康で持続可能な生活と社会を実現するための工学を学ぶことができ、教員免許を取得できることです。私は将来教員になり、ものづくりの楽しさを伝えられるようになりたいと思っています。大学進学をするために、学校生活では学校のルールを守り楽しく学ぶことを大切にしました。また、3年間で先生との交流も大切だと感じました。進学や就職をする中で機械科は、凄く恵まれた環境なので様々な先生と交流を深め、コミュニケーションをしていくことが進路実現をするためのカギだと思っています。

【関東いすゞ自動車株式会社】

大澤 歩夢 君（電子機械科・藤岡北中出身）



私は高校3年間サッカーをしていて将来は、体を動かす仕事をしたいと思っていました。

就職が内定した関東いすゞ自動車株式会社は、夏休みに会社見学をさせていただきました。先輩社員の雰囲気がよく毎日が充実しているという印象でした。

サッカーと同じで1人ではなく2人組、3人組などのペアを作って作業をするので、自分にあっていると感じました。

高校生活では部活動の部長、クラスでは委員長などの経験し色々なことを学び、自分を向上させることができました。

【日本工業大学先進工学部データサイエンス学科】

大野 泰良 君（電子機械科・藤岡北中出身）



進路については、元々は専門学校に進学するつもりでしたが、3年生の夏休みにオープンキャンパスに行った大学に決めました。学校を決めるときには「自分の学びたいことが学べるか」を第一に考えるといいと思います。通学距離や学費のことは後からどうにかしましょう。また、指定校推薦で受験する場合には、基準以上の成績が必要になってきます。普段から勉強する習慣を身に着けたり、資格を取得しておくのと良いと思います。自分の希望する進路を実現するためにも普段の勉強を頑張ってください。

【テック・フォー株式会社】

能勢 忠利 君（電気科・高崎八幡中出身）



私の父親は製造業で働いていて、私も高校を卒業したら製造業で働きたいと思っていました。私が内定をもらったテック・フォーという会社は、父が働いている会社ではなく、自分の意志で別の環境で働きたいと思い決めました。この会社はコミュニケーション能力と体力に自信がある人が働きやすい環境だと思います。藤工で頑張ってきたことは、欠席や遅刻をしない事と部活動にしっかりと取り組むことです。これは、会社の面接などで話せる強みだと思います。自分の努力で欠席や遅刻はしないようにできると思うので、皆さんも頑張ってください。

【群馬自動車大学校一級自動車整備科】

小林 巧 君（電気科・玉村中出身）



幼い時から自動車に興味を持ち始め、中学生の時には自動車整備士になりたいと思うようになりました。

群馬自動車大学校に進学を決めた理由は敷地が広く、設備が充実していたことです。また整備士の合格率が高かったので入学を決めました。将来の夢を早めに決めて、電気科に行くことを決めましたが、在学中に電気関係以外の資格にももう少し挑戦しておけば良かったなと後悔しています。

進学後は「一級自動車整備士」の資格取得に重点を置いて、日々の学習に取り組んでいきたいと思っています。

「探鳥会」

1月7日（土） かな川水辺の楽校が主催する探鳥会があり、生徒4名が参加しました。日本野鳥の会群馬の方から双眼鏡を使って野鳥の探し方などの説明を受けたのち、本郷地内の神流川河川敷で野鳥を観察しました。観察後は、参加者全員で観察できた野鳥をリストアップする鳥合わせを行いました。



「人命救助により感謝状贈呈」

1月30日（月） 本校校長室にて機械科3年大澤俊介君と吉田龍馬君に対して、高崎警察署より感謝状が贈呈されました。これは、昨年暮れに路上で危険に遭遇している男性を、適切な判断により救助した功績に対してのものです。



「スーツ着こなしセミナー（3年）」

2月7日（火） 3年生を対象としたスーツ着こなしセミナーが行われました。コナカ高崎上中居店のスタッフの方々より、この春からスーツを着る機会が増える3年生に向けて、スーツや礼服の着こなし方などについて話をいただきました。



「進路ガイダンス（1年）」

2月7日（火） 1年生を対象とした進路ガイダンスが行われました。生徒各々希望職業分野ごとに分かれ、専門学校や大学の方々より、将来の職業選択に参考になる具体的な話をいただきました。



「修学旅行（2年）」

12月11日（日）～14日（水） 2年生が奈良・京都・大阪方面の修学旅行に行ってきました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり過去2年間中止や縮小されていた修学旅行ですが、久しぶりに泊を伴う形で実施されました。4日間に渡る友人たちとの旅行で、各々高校生活の大きな思い出づくりができたことと思います。



「大会出場壮行会」

12月23日（金） 地区大会を勝ち抜いた以下の生徒たちの、上位大会での健闘を期して本校体育館にて壮行会が行われました。

ジャパンマイコンカーラリー2023全国大会出場：須永 優弥（3年）

関東高等学校ウェイトリフティング競技選抜大会出場：根岸 蒼空（2年）・大久保 協亮（2年）
ドルジスレン エンフスルデ（1年）



「廃食用油の提供」

12月23日（金） 生徒や教職員の家庭などから回収した廃食用油を、(株)BDF群馬事業所に提供しました。当日は、事業所職員の方に来校していただき、保管しておいた油を生徒会の生徒が倉庫から事業者のトラックに積みました。2年と4ヶ月で集めた油は90kgになりました。生徒会では、今後も廃食用油の有効活用に取り組んでいきます。

